

2023年度 高社小学校 グランドデザイン

確かな学び

高社小の目指す学び合いの視点

「一人ひとりが考える授業」

～語ろう 聴こう みんなで学び合おう～

- ・「問い」を立て、友と協働しながら探究する授業を通して、他者とつながる力を育み、物事の深い理解を目指します。
- ・授業の終末の振り返りの時間の充実を図ることで、自己理解を深めるとともに、自分を育てるために必要なことを自分で見極めていく力を養います。
- ・一人一台端末を自分の必要に応じて活用し、情報を整理、発信して、表現する力を養います。

豊かな心

- ・ソーシャルスキル教材、CSS(クラスルームソーシャルスキル)や学級・学年、異学年集団(姉妹学級)などの活動を通して、よりよい人とのかかわり方を身につけられるようにします。
- ・読書活動を充実させ、メディアと離れる「うちどく」を位置づけて、想像力等を培います。
- ・地域の資源(ひと・もの・こと)を生かす・かかわるクラブ活動や体験活動を充実させ、探究心を培います。
- ・「なかよし週間・旬間」を位置づけたり、日々の人権教育、道徳科を充実させたりして、自己のあり方を振り返りながら人を大切に、人と協力しあう心を養います。

健やかな体

- ・体育の授業や、体育集会、運動会、遠足、地域探索活動などの活動を通して、基礎的な身体能力の育成を図ります。
- ・地域の方々と連携し、雪とかかわる活動(雪遊び・スキー)を充実させ、雪とかかわる楽しさとともにたくましさを培います。
- ・薬物乱用防止教室等の健康に関する指導を充実させ、身近な生活における健康に関する知識を身につけられるようにします。
- ・家庭とともに子どものメディアコントロールについて情報を共有することで、適切にメディアに関わる力を養います。

学校教育目標

広く 高く 豊かに
～ふるさとの山 高社山のように～

中心課題

「つながる力」をはぐくむ

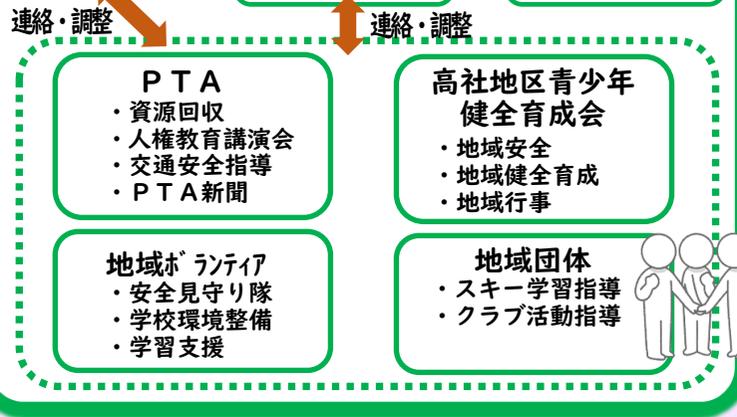
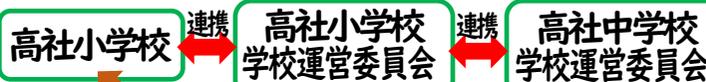
他者との協調・自己理解・他者理解

目指す児童の姿

自己を見つめ、豊かにかかわり合う子ども



学校と共に子どもを育てる地域



高社小の行動目標

生活の姿

- ・あいさつ そうじ くつそろえができる。
- ・友達となかよく生活ができる。
- ・時間のけじめをつけた生活ができる。

学びの姿

- ・聞き合い、語り合える。
- ・自分で考え、みんなと考え、もっと学べる。
- ・わからないときにはわからないと言える。

家庭でも生きる力へ

家庭と連携したICT活用

- ・タブレット端末の活用について振り返る場を位置づけ、他者の人権に配慮できるとともに、一人一台端末を必要に応じて活用して学びを深めることができる子どもを育てます。
- ・出席停止等の状況に応じてオンライン授業を提供し、学習が途切れないようにします。
- ・メディア等の利用について保護者の意見を取り入れながら、「メディアリテラシー便り」を通じて、諸課題を家庭とともに解決します。

高社小中一貫で育む力

高社中ブロックで育てたい児童生徒の姿

- ◆自己実現に向けて、自分の考えをもち、学び合う
- ◆体験・交流活動を通して、健康で豊かな心と体を身につける

大切にしていく3つの連携の柱

- <学びの連携> 「学び合いのある授業づくり」
- <育ちの連携> 「体験交流活動の充実」「人権教育の推進」
- <外部との連携> 「高社小・中の9年間を支える地域との連携」「高社小・中の学校間連携」